ニュースリリース

2015 年 3 月 31 日

シリコンラボ、iOS デバイス向けアクセサリ開発を簡素化するデジタル・オーディオ・ブリッジ・デバイスの新製品「CP2614」を発表

組み込みファームウェアとプロトコルにより、アクセサリ開発が容易な省エネルギー型デジタル・オーディオ・ブリッジ・デバイスと評価キットを同時に提供

IoT（Internet of Things）用のマイクロコントローラ、ワイヤレス接続、アナログおよびセンサー・ソリューションの大手メーカであるシリコン・ラボラトリーズ（本社: 米テキサス州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下：シリコンラボ）は、iOS デバイス向けアクセサリの開発を簡素化するための、デジタル・オーディオ・ブリッジ・デバイスの新製品「CP2614」と評価キットを発表しました。CP2614 は、オールデジタル Lightning コネクタを使用するさまざまな MFi（Made for iPod/iPhone/iPad）デバイス向けにオーディオ・ブリッジ・ソリューションを提供します。対象となるアプリケーションは、ギターやマイクロフォンの録音装置、オーディオ・ドック、ヘッドフォンなどのオーディオ・アクセサリです。CP2614 は、iOS アプリケーションとアクセサリ・ハードウェア間の通信の組み込みもサポートしており、多種多様な IoT アクセサリが関連 iOS アプリケーションと連携して動作できるようにします。

CP2614 オーディオ・ブリッジ・デバイスと MFI-SL-CP2614-EK 評価キットは現在量産中であり、MFi ライセンス取得者に提供します。5 mm x 5 mm QFN32 パッケージで提供されている CP2614 の単価は、1 万個時で 2.51 米ドル。MFI-SL-CP2614-EK の単価は 59 米ドル（メーカ希望小売価格）で、MFi ライセンス取得者は Apple MFi Procurement Portal を通じて評価キットを注文できます。CP2614 オーディオ・ブリッジ・デバイスの詳細と、サンプルのご注文については、www.silabs.com/interface をご参照ください。

シリコンラボの CP2614 と MFI-SL-CP2614-EK は、iOS アクセサリ開発者向けの費用対効果の高い総合的な開発プラットフォームであり、固定された機能を持つ MFi をサポートすることにより、製品化までの期間を短縮します。CP2614 ソリューションは、ファームウェア開発が不要であるため、設計者が MFi アクセサリ設計に素早く着手して取り組むのに役立ちます。開発者は、使いやすい GUI ベースの構成ツールを使用してカスタマイズ・オプションを選択するだけです。

CP2614 は、消費電力を慎重に管理して最小限に抑え、アクティブ・モードとアイドル・モードの両方で超低消費電力を実現します。CP2614 は、エネルギー効率が極めて高いため、機器から給電されるアクセサリにとって最適な選択といえます。CP2614 は、5V の低ドロップアウト（LDO）レギュレータも内蔵しており、電源内蔵型アクセサリの場合は、BOM（部品表）コストと実装面積が低減します。CP2614 は、外部水晶発振器や EEPROM を使用せずに動作し、すべての構成オプションをデバイス内に格納しているほか、水晶発振器が不要なアーキテクチャと内蔵 EEPROM によって BOM コストがさらに減少するとともに、プリント回路基板（PCB）面積が削減されるため、開発者はより小型で効

率的な費用対効果の高いアクセサリを設計できます。

オーディオ録音機器の大手メーカ Focusrite 社で、製品設計担当ディレクタを務める Rob Jenkins 氏は次のようにコメントしています。「当社のポケットサイズの iTrack Pocket ステレオ録音製品の設計では、機器から給電される当社の iOS アクセサリの極端なフォーム・ファクタ、低消費電力、高品質オーディオという要件に適合するブリッジ・デバイス・ソリューションが必要でした。CP2614 は、小さい実装面積と低電流の理想的な組み合わせを提供することで、当社の設計上の要求を満たしています。当社のハードウェアおよびソフトウェア・オーディオ製品は音楽の作成を簡単にしますが、CP2614 は iTrack Pocket の制作を容易にしました。」

CP2614 は、24 ビット単方向および 16 ビット双方向デジタル・オーディオ・ストリーミングをサポートしており、開発者は「プロシューマー」クラスの高品質で高性能なオーディオ・アクセサリを開発できます。CP2614 は、iOS アプリケーションとの通信チャネルを確立することができ、アプリケーションは汎用入出力（GPIO）の読み取り/書き込みを通じてアクセサリ・ハードウェアと直接情報をやりとりし、カスタム・データ・フロー用の UART にアクセスできます。GPIO は、ボタン入力や LED 出力を行うように構成でき、iOS アプリケーションからのリモートアクセスや、音声再生を制御するために使用できます。

シリコンラボで、マイクロコントローラおよびワイヤレス製品担当バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める Daniel Cooley は次のようにコメントしています。「現在の競争の激しい iOS アクセサリ市場で成功するために、開発者はシリコン、ファームウェア、評価キットを包括した、簡単に使用できるソリューションを求めていますが、当社の新しいソリューションによって開発者は設計を簡素化し、消費電力とコストを抑え、製品化までの期間を短縮することができます。当社の新製品 CP2614 と評価キットによって、Focusrite 社のようなお客さまは、エンド・ユーザに付加価値を提供する革新的機能を備える差別化された iOS オーディオ・アクセサリ製品の開発に集中できます。」

シリコン・ラボラトリーズについて

シリコン・ラボラトリーズ（NASDAQ: SLAB 本社、米テキサス州オースチン、www.silabs.com）は、IoT（モノのインターネット）、インターネット基盤、工業制御、民生及び自動車市場向けにシリコン、ソフトウェア、及びシステム・ソリューションを提供する業界大手メーカとして、エレクトロニクス産業の難題を解決し、性能、省エネルギー、コネクティビティ、設計の簡素化の面で大きなメリットをお客様に提供します。ソフトウェア及びミックストシグナル設計の分野で無類の技術力を誇る世界クラスのエンジニアリング部門を擁し、初期構想から最終製品までのプロセスを改善するために必要なツールを開発者に提供します。会社概要・事業内容の詳細は www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

Silicon Laboratories, Silicon Labs, S ロゴ, Silicon Laboratories ロゴ, Silicon Labs ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

＃＃＃

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: （米国）1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント http://twitter.com/silabs 公式 Facebook アカウント http://facebook.com/siliconlabs

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com